

令和元年度 町政懇談会 意見内容

【ご意見者 1】

- Q：利根町公民館のホール客席下段の両サイドの通路が避難等するには狭すぎるのではないのか？
- A：速やかに避難できるよう幅を広げるように検討させていただきます。

【ご意見者 2】

- Q：昨今の厳しい災害のなか、行政の組織体制で危機管理課又は危機管理室の設置の予定はないのか？
- A：設置の準備を進めている。
- Q：設置準備の時に外部の防災アドバイザーに入っていて、意見交換を実施してはどうか？
- A：検討させていただきます。
- Q：防災計画の見直しは考えているのか？
- A：国や県から情報をもとに見直しはしていく。
- Q：広域避難の協定はどうなっているのか？
- A：稲敷広域圏内で協定を結んでいて、利根町は牛久市が避難先となっている。
- Q：町内の病院と協定を結んではどうか？
- A：検討させていただきます。
- Q：福祉避難所としての医療体制はどうなっているのか？
- A：福祉避難所では、医療行為はできないので治療等が必要な場合は、病院への利用をお願いします。福祉避難所は高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦などの対応として4名の職員が待機し、内2名の保健師を待機させています。また、町内の福祉施設と協定を結んでおり多数になったときは、避難できる体制となっております。
- Q：弱者の避難用として福祉バス又はデマンドタクシーの利用ができないのか？
- A：避難の遅れた人の対応として消防団の活用を考えています。福祉バスやデマンドタクシーの利用は検討させていただきます。

【ご意見者 3】

- Q：非常勤特別職の区長が法律改正により、非常勤特別職から除外されることにより条例の廃止をしたとき、その後、どのような体制をとっていくのか？
- A：非常勤特別職としての区長設置条例は廃止となりますが、今後も従来の役割や業務を行っていただきたいので、同様な内容の規則等により区長を設置させていただきます。
- Q：非常勤特別職の消防団に、各自治会組織から寄附金を支払っているが地方公務員の消防団員がそれを受け取っていいのか？
- A：国の方から違法性等の情報が入れば、周知していきます。

【ご意見者 4】

- Q：以前に活動していた、学習支援ボランティアを子育て支援事業のひとつとして活動させていただき、活動の際には会場費用などが負担とならないようにできないか？

A：学習において、どの子も見捨てず、どの子も同じように伸ばしていきたいので、努力し検討していきたいと思います。

【ご意見者 5】

Q：東日本大震災以来、側溝の汚泥の回収を実施していないが、いつごろから再開するのか？

A：昨年度より住宅地内の汚泥回収は進めていますので、今後は地元の皆様のご協力清掃作業をお願い致します。

【ご意見者 6】

【意見】町長が就任後、住民に発した「シビックプライド」「スタッフプライド」のような町民の心に突き刺さる言葉を町民のリーダーとして引き続き発していただきたい。

利根町から離れていった関係人口を大切にしていっていただきたい。
障がい者が集える居場所(フリースクール)をつくっていただきたい。

【ご意見者 7】

【意見】町営霊園については、別会計扱いとし、管理費の用途については説明会等で報告するように提案します。

【ご意見者 8】

Q：町営霊園になぜ納骨堂をつくる必要があるのか？

A：行路死亡人や引き取り手のない遺骨が今後増える可能性があり、また、管理が手つかずになる墓の遺骨も納骨する予定。

Q：納骨堂の設置工事代が高くないか？

A：業者に設計を委託しておりますので妥当かと思えます。

Q：工事費用はどこから支出するのか？

A：霊園会計の財政調整基金より支出いたします。

【ご意見者 9】

Q：町長が現在思う、町がかかえている問題点は？

A：少子高齢化です。

年々ボランティアの方々が離れて行って、今後は、本当の住民の方々と協働の町づくりを進めていかなければならない。

Q：国、県、町の高齢化率をわかる範囲で教えてください

A：町の高齢化率は、10月1日現在、住民基本台帳人口ベースで43.12%です。